

# 会議録

会議の名称	令和7年度第1回東松山市障害者計画等策定委員会					
開催日時	令和7年5月27日（火曜日）			開会	午後 2時	
				閉会	午後 3時40分	
開催場所	東松山市総合会館多目的ホールB（東松山市役所総合会館4階）					
会議次第	1 開会 2 挨拶 3 議事 (1) 障害者計画と障害福祉計画・障害児福祉計画について (2) 計画策定スケジュールについて (3) 令和7年度実施基礎調査（全体）について (4) 業者委託して実施するアンケート内容等の確認について (5) 市が実施するアンケート等の内容について (6) 計画の基本理念（案）について (7) その他 4 その他					
公開・非公開の別	公開		傍聴者数		0人	
委員出欠状況	委員長	葉石 光一	出	委員	宮腰 智裕	出
	委員	神辺 正規	出	委員	磯貝 瑞	出
	委員	武田 耕典	欠	委員	篠田 真一	出
	委員	佐藤 美奈	出	委員	丹羽 彩文	出
	委員	若尾 勝己	欠	委員	遠藤 正宣	出
	委員	中能 広和	出	委員	石川 京子	出
	委員	田原 祐己子	出	委員	原口 展昭	出
	委員	青木 梨恵	出	委員	河村 利恵	出
	委員	杉浦 翔太	出			
事務局	健康福祉部 柳沢部長			健康福祉部 山口次長		
	障害者福祉課 荻原課長			障害者福祉課 浅野副課長		
	障害者福祉課 小松主査			障害者福祉課 大曾根主査		

次 第	顛 末
<p><b>1 開会</b> 事務局（障害者福祉課 浅野副課長）</p> <p><b>2 挨拶</b> 葉石委員長</p> <p>事務局（障害者福祉課 浅野副課長）</p>	<p>皆様こんにちは。本日は公私とも大変お忙しいところ、お集まりをいただきまして、誠にありがとうございます。私は、本日の会議の進行を務めさせていただきます、障害者福祉課の浅野と申します。よろしく願いいたします。</p> <p>それではただいまから、令和7年度第1回東松山市障害者計画等策定委員会を開会いたします。本会議につきましては事前にお配りした次第により進めさせていただきます。</p> <p>はじめに、葉石委員長よりご挨拶をお願いいたします。</p> <p>— 挨拶 —</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>続きまして、委員の出席状況についてご報告申し上げます。17名の委員のうち、本日出席委員は15名となっております。従いまして、東松山市障害者計画等策定委員会条例第6条第2項の規定による定足数に達しておりますので、本会議は成立したことをご報告申し上げます。</p> <p>また、本日の会議録作成にあたり、出席委員2名の方に署名をお願いしたいと存じます。本日の会議録につきましては、宮腰委員と篠田委員をお願いいたします。後日、会議録ができましたら事務局よりご連絡を申し上げますので、ご署名をお願いいたします。</p> <p>それでは、議事に入る前に資料の確認をさせていただきます。事務局より確認をお願いいたします。</p> <p>— 資料確認 —</p> <p>それでは議事に入らせていただきます。議事につきましては、障害者計画等策定委員会条例第6条第1項の規定により委員長が議長を務めることとなっておりますので、葉石委員長よろしく願いいたします。</p>
<p><b>3 議事</b> 葉石委員長</p>	<p>それでは、皆様のご協力をよろしく願いいたします。</p> <p>まず、議事に入る前に確認事項がございます。東松山市審議会等の会議の公開に関する要綱では公開・非公開の決定を会に諮って決めることになっております。本日の会議は公開の会議とし、会議資料や会議録を公表してよろしいでしょうか。</p> <p>— 異議なし —</p> <p>公開の場合、傍聴希望者がいらっしゃれば、傍聴いただくことになります。事務局にお聞きいたします。本日、傍聴希望者はいらっしゃいますか。</p>

事務局（障害者福祉課 浅野副課長）	いらっしやいません。
葉石委員長	それでは、議事に移ります。議事1「障害者計画と障害福祉計画・障害児福祉計画について」事務局から説明をお願いします。
事務局（障害者福祉課 小松主査）	— 議事第1号について説明 —
葉石委員長	<p>ありがとうございました。ただいま事務局より説明がございました内容についてご質問、ご意見のある方はいらっしやいますでしょうか。</p> <p>よろしいですか。なければ、次に議事2「計画策定スケジュールについて」に移ります。事務局から説明をお願いします。</p>
事務局（障害者福祉課 小松主査）	— 議事第2号について説明 —
葉石委員長	<p>事務局からの説明についてご質問ご意見ある方いらっしやいますか。</p> <p>よろしいですか。なければ、次に議事3「令和7年度実施基礎調査（全体について）」に移ります。事務局から説明をお願いします。</p>
事務局（障害者福祉課 小松主査）	— 議事第3号について説明 —
葉石委員長	<p>事務局からの説明についてご質問ご意見ある方いらっしやいますか。</p> <p>よろしいですか。なければ、次に議事4「業者委託して実施するアンケート内容等の確認について」に移ります。事務局から説明をお願いします。</p>
事務局（障害者福祉課 小松主査）	— 議事第4号について説明 —
葉石委員長	<p>事務局からの説明がありました。資料5から8の順に確認していただきながら、ご質問やご意見のある方いらっしやいますか。内容について、大幅に変更するタイミングではないとのことですがいかがでしょうか。</p> <p>私から、学校についての表記で確認したい点があります。東松山特別支援学校の先生にご意見を伺いたいところですが、資料5の6・7ページで回答の選択肢の中に「9 一般の高等学校」となっております。一般的な用語としては良いかと思いますが、行政では「通常の」という表現を使うところかと思いますが、このままで大丈夫でしょうか。「①現在の主な通い先」と「②希望する</p>

	<p>通い先」も同様です。</p>
原口委員	<p>私としてはこのまま「一般の高等学校」、「小・中・高の特別支援学校」でも良いと思いますが、特別支援学校としては「特別支援学校の小学部・中学部」の方が、より一般的かと思います。</p>
葉石委員長	<p>「7 小・中学校の普通学級」、「9 一般の高等学校」についてはこれで良いのではないかということです。「10 小・中・高の特別支援学校」については、「8 小・中学校の特別支援学級」を合わせて見たときに、まるで小・中・高等学校に特別支援学校があるかのような印象を持ちます。実際、同じ敷地を共有している学校も中にはありますが、そういった意味合いに取れてしまうので、「特別支援学校」とした方が良いように思います。また、学部が分かれているので、小学部・中学部・高等部という書き方が良いのではないかと思います。</p>
原口委員	<p>スペースの兼ね合いもあるかと思いますが、小・中学部と高等部というように、義務教育とそれ以上で分けても良いと思います。</p>
葉石委員長	<p>なるほど。「特別支援学校の小・中学部と高等部」という表現ですね。スペースの問題もありますが、7ページの「②希望する通い先」についても同様の文言がありますので、修正するとしたらそこも同様になります。事務局としてはいかがでしょうか。</p>
事務局（障害者福祉課 小松主査）	<p>ご指摘ありがとうございます。では、問9の①の回答選択肢「10 特別支援学校（小中学部・高等部）」、同様に右側7ページ、「②希望する通い先」の選択肢の10も、同様に修正をさせていただきたいと思います。</p>
葉石委員長	<p>細かい言葉の表現ですが、11ページの間20、「合理的配慮の提供が義務化されたことを知っていますか」という、この事実を知っているかということについて、2の選択肢が「名前は聞いたことがある」とあります。おそらく合理的配慮の提供という言葉は聞いたことがあるというような意味合いだと思いますので、「言葉は聞いたことがある」と修正してはどうかと思いました。何か所かほかにも同様の表現があったと思います。</p>
事務局（障害者福祉課 小松主査）	<p>10ページの間17にも「名前は聞いたことがある」という選択肢がございますので、間17と、今ご指摘をいただきました間20については「言葉を聞いたことがある」と修正をさせていただきたいと思います。</p> <p>また、7ページ、資料6における問7の回答選択肢「2」、同様に14ページ、資料7における問8の回答選択肢「2」も修正させていただきます。</p> <p>その他、後ほど確認する中で同様の表記があれば修正をさせていただきたい</p>

<p>葉石委員長</p>	<p>と思います。ご指摘ありがとうございました。</p>
<p>杉浦委員</p>	<p>ほかにはいかがでしょうか。</p> <p>障害のある方を対象とするアンケートで、お住まいの地域、障害の等級、個人年齢などかなり細かいことも含めて聞いている一方、市民へのアンケートや中学生向けのアンケートでは基本的にそういう細かい情報は聞いていないと思うのですが、この違いはなぜ生じているのでしょうか。また、障害のある方を含めて全部のアンケートの冒頭には、名前などの個人情報記入しないでくださいと書いてありますが、障害のある方向けのアンケートはかなり個人情報に近い内容をアンケートで設問として求めているという印象を受けたのですが、これは設問として必要なものなのでしょうか。</p>
<p>事務局（障害者福祉課 小松主査）</p>	<p>基本的に障害者福祉計画、また、障害福祉計画については、やはり当事者の状況、ニーズの把握、実態把握等に資する基礎資料になります。その方の状況等を精査するためにクロス集計をする予定でおりますので、障害種別等についてもかなり細かくお聞きしているところです。地区についても、これまで地区別にクロス集計をしているという事情がございましたので、今回も前回同様、地区も聞きするものです。この部分は不要ではないかというご意見でしょうか。</p>
<p>杉浦委員</p>	<p>お名前こそ記入はしないものですが、ここまで回答するとどこの誰が回答したものが、ある程度集計する側で特定されてしまうと思いますので、そうになると、回答する側としては気が引けてしまう場合があるように思いました。もし必要がないのであれば、なくても良いのではないかと思った次第です。</p>
<p>事務局（障害者福祉課 小松主査）</p>	<p>地区別と言っても、松山地区が大半を占めておりまして、大岡地区や高坂丘陵地区ではかなり対象者が絞られてくるというところです。個人を特定するような集計はしませんが、この設問について、残すかどうか、必要かどうかというところで検討させていただきたいと思いますが、逆にこの点について委員の皆様からご意見等があればぜひお聞きしたいと思いますがいかがでしょうか。</p>
<p>葉石委員長</p>	<p>今ご意見があった点について検討していくということですが、この場で何かご意見があればということです。</p> <p>私は大学で質問紙調査などを実施する場合、当然、個人情報を直接聞くというようなことはしませんが、さらに言うと最初の注意書きなどのところに、個人を特定されるような形での分析は行いません、扱いには注意します、というようなことを書いておくことで、回答することに対して躊躇しないで書いていただければと、そういった意思を伝えるという方法をとっています。</p> <p>この設問が必要かどうかは、これまでの集計の中身を見ないと、単純に決め</p>

	<p>られないところもあると思いますので、最終的なところは、事務局の方で精査していただくということでどうかと思います。今回のことについてだけでなく、今後、この設問はあまり有益な分析になっていないというところの洗い出しも今後に向けて意識していただければと思います。</p> <p>以上は私の意見ですが、ほかにいかがでしょうか。</p> <p>では、この件については事務局で精査していただくということによろしいでしょうか。</p>
<p>事務局（障害者福祉課 小松主査）</p>	<p>葉石委員長に御助言いただいた内容も含め、検討してまいります。基本的には設問として残す方向で、ただし、回答する側に不安や心配を与えないような記載も必要かと思っておりますので、検討をさせていただき適切に実施できればと思います。ご意見ありがとうございました。</p>
<p>葉石委員長</p>	<p>ほかにはよろしいですか。なければ、次に議事5「市が実施するアンケート等の内容について」に移ります。事務局から説明をお願いします。</p>
<p>事務局（障害者福祉課 小松主査）</p>	<p>— 議事第5号について説明 —</p>
<p>葉石委員長</p>	<p>事務局からの説明についてご質問ご意見ある方いらっしゃいますか。</p>
<p>篠田委員</p>	<p>23ページの障害福祉サービス事業所に係るアンケート調査対象一覧について、自分たちの事業所が実施しているからなのですが、同行援護が対象に含まれていない理由はありますか。</p>
<p>事務局（障害者福祉課 小松主査）</p>	<p>グレーで塗りつぶした箇所はサービスが重複する事業所となります。同行援護に関しては、全ての事業所が他のサービスと重複をしているため、記載自体を省略しております。省略した点は恐縮ですが、対象に含まないという意味ではなく、記載した上でいずれの事業所もグレーで塗りつぶされることとなり、事務局としてはほかのサービスで送付予定があるということから、記載を省略したものでございます。</p>
<p>原口委員</p>	<p>資料13、32ページの特別支援学校に対するアンケートについて、児童生徒数の欄がございます。その内訳で、初等部・中等部とありますが、東松山特別支援学校においても、川島ひばりが丘特別支援学校においても小学部・中学部・高等部の表記になるかと思っておりますので、そのようにしていただいた方が良くと思います。</p> <p>そして、その下の主な対象者ですが、特別支援学校の対象と言った場合、これは障害種別ごとに分かれておりますので、東松山特別支援学校であれば知的、川島ひばりが丘特別支援学校であれば身体、もしくは肢体不自由のどちら</p>

<p>事務局（障害者福祉課 小松主査）</p>	<p>かの表現が良いかということになりますが、身体と知的であろうと思います。精神、発達障害、その他というのは、特別支援学校においては入学の要件になりませんので、これを主な対象者と記載すること自体が不適切なように思います。二つしかないので回答が必要かということもありますが、書くとすれば、身体もしくは肢体不自由、と知的の二項目ではないかと思います。</p> <p>では、確認も含めてですが、児童生徒数の内訳は、小学部、中学部、高等部と記載を修正させていただきますとともに、主な対象者については、おっしゃるとおりひばりが丘特別支援学校と、東松山特別支援学校の二校が対象でございますので、項目自体を削除させていただきたいと思います。ご意見ありがとうございました。</p>
<p>宮腰委員</p>	<p>一点確認ですが、雇用事業者あての調査で、41ページの企業一覧表の13番目に実は私どもの店舗が載っています。障害者雇用はすべて本社人事なので、店舗で答えられないことがたくさんあるのではないかと思います。ほかにもこの中で同じようなところがあるのではないかと思います。ですから、答えられない場合は、本社の人事など、担当部署に転送してくださいなどと記載が入れられると、店舗で受け取って答えるのは一部で、企業の考えなどは答えられないかもしれません。せつかくのアンケートが、戻ってこない可能性がある。回答期限は決まっていますので、なるべく早く関係部署、ただし、どこに転送したというのは店舗から連絡してもらえれば、今どこにあるというのはわかるはずです。私どもに関しては、本社に送っていただければ、店に代わって全部お答えします。店舗を訪問していますので、個別の項目についてはちゃんと店舗に書かせます。ほかの企業さんも、もし支店などの場合、そういった配慮が必要かと思います。参考までに申し上げました。</p>
<p>事務局（障害者福祉課 小松主査）</p>	<p>確かに事業者からの回答率が低い点について、障害者就労支援センターザックにも理由はどんなことが考えられるだろうかと相談させていただいた経緯がございます。やはり、質問項目が多岐に渡る中で、現場でないと答えられない質問もあれば、法人本社ないと答えられないような質問もあり、混在しているために答えにくいところはあるように思うとご意見をいただいたところでございます。ただ、抽出したこの39社については、あくまで東松山市への施策のご意見を伺うという想定で抽出をさせていただいております。今回からWeb上、電子申請での回答も可能としたことから、送付文書の中に適切な部署への転送をお願いしますというような記載を入れたいと思います。ご意見ありがとうございました。</p>
<p>葉石委員長</p> <p>佐藤委員</p>	<p>ほかにはいかがでしょうか。</p> <p>内容等に対する意見や質問ではないのですが、策定委員会は公開です。そ</p>

	<p>うなったときに、資料を市のホームページに掲載することになると思います。そうすると、43ページのヒアリング対象者について、先ほどのアンケート回答のところでの杉浦委員のご質問でなるほどと思ったのですが、かなり詳細に書かれていて、かつグループホームは5、6人しか住んでいない中で個人を特定されかねないので、ここについては載せないなどの配慮をいただいた方が良かったと思います。</p>
<p>事務局（障害者福祉課 小松主査）</p>	<p>43ページの資料につきましては、6列目の概要の欄から右側については、公開資料としては削除させていただきたいと思います。ご指摘ありがとうございます。</p>
<p>葉石委員長</p>	<p>さきほどの32ページの特別支援学校の調査シートについてですが、これは東松山特別支援学校と川島ひばりが丘特別支援学校の二校について送付するというのであれば、名称の記入欄はなくても良いと思いますがいかがでしょうか。</p> <p>先ほどの主な対象者について、確かに特別支援学校の障害種というのがありますが、実際、肢体不自由児に関しては知的障害を併せ持っているお子さんが多いということがあるかと思いますが、そういった重複などを聞き取りたいという意図ではないかという点について確認をしたいのですが、いかがでしょうか。</p>
<p>事務局（障害者福祉課 小松主査）</p>	<p>重複の意図を持っての設問ではございませんので、削除でよろしいかと思った次第です。</p>
<p>葉石委員長</p>	<p>ほかにはいかがでしょうか。</p> <p>全体を通してのことなのですが、問い合わせ欄にメールアドレスが書いてある調査票と、ない調査票があります。今、ファックスがどのくらい使われているかはわかりませんが、メールの方が一般的になってきていると思いますので、全体的に問い合わせ先にメールアドレスを記載していただいた方が良かったと思います。</p>
<p>事務局（障害者福祉課 小松主査）</p>	<p>おっしゃるとおり、記載が異なっていましたので、中学2年生向けのアンケート以外は、メールアドレスを記載する方向で統一したいと思います。</p>
<p>議員委員</p>	<p>内容についてではないのですが、今回、当事者団体の中から精神障害の団体が抜けてしまったというところで、精神障害はかなり大きな割合のある障害だと思います。調査できる団体が市民ではないということで、そこも一つの課題かと感じたので、意見というよりも感想になりますが、お話をさせていただいたと思いました。実際、広域で精神障害の親の会や団体など、なかなか活動が広がらないという課題があります。ほかの部分で、事業所や当事者からお話を</p>

<p>事務局（障害者福祉課 小松主査）</p>	<p>聞くことは可能ですが、団体ですと親の会が中心になっていらっしゃるの、そういった意見要望を聞く機会がないということを残念に思います。保健所の課題でもあるのですが、親の会の活動など力を入れていきたいと思っております。ぜひ一緒に考えていけたらと思いますのでよろしくお願いいたします。</p> <p>今後、御協力できるのであればと思いますので、よろしくお願いいたします。</p>
<p>葉石委員長</p>	<p>個人情報の扱いや、調査をする対象などについていろいろと御意見を出していただきました。ほかにございますでしょうか。</p> <p>よろしいですか。なければ、次に議事6「計画の基本理念（案）について」に移ります。事務局から説明をお願いします。</p>
<p>事務局（障害者福祉課 小松主査）</p>	<p>— 議事第6号について説明 —</p>
<p>葉石委員長</p>	<p>事務局からの説明についてご質問ご意見ある方いらっしゃいますか。</p> <p>10年間に渡る基本理念ということ。こういうものはセンスを問われる部分もありますが、下の点線の枠内に書かれている趣旨などを踏まえて、内容はあっているように思います。趣旨をうまく反映した表現になっているということであればよろしいかと思いますが、なにか気に係る点などありましたらぜひお願いいたします。</p> <p>この下の点線の枠内に書かれている、表現に込めた意味合いというのは、合わせてオープンになるのでしょうか。</p>
<p>事務局（障害者福祉課 小松主査）</p>	<p>オープンになる、というのは計画書の中で言及するという意味でしょうか。</p>
<p>葉石委員長</p>	<p>はい。この理念に込められたのはこうした意味合いですと記載されますか。</p>
<p>事務局（障害者福祉課 小松主査）</p>	<p>現在策定しております第3次市民福祉プラン後期計画の基本理念を掲げる中では、個々の意味についてはあまり触れていない書きぶりになっております。第3次市民福祉プラン後期計画で言いますと、20ページ、21ページが該当する箇所になります。当初の理念を引き継いでいること、地域社会が障害のある人を包容し障害の有無に関わらず、全ての市民が個性と能力を発揮し自分らしく安心して生活できるよう、住まい、学び、働き方などの分野ごとに各種施策を進めてきました等が、多少触れている部分かと思っております。点線の枠内に記載してある内容も一部抜粋をして、この理念はこうした背景を受けて設定したもの、と記載はしますが、全てを開示するという事にはならないかと思っております。</p>

<p>葉石委員長</p> <p><b>4 その他</b></p> <p>事務局（障害者福祉課 浅野副課長）</p> <p>原口委員</p> <p>事務局（障害者福祉課 浅野副課長）</p> <p>健康福祉部 柳沢部長</p> <p>事務局（障害者福祉課 浅野副課長）</p>	<p>この理念の説明が、目指しているものが伝わるようになってくると良いのではないかと思います。</p> <p>いかがでしょうか。案を考えるにあたって意識したことと、その表現が対応しているということであれば、これでお認めいただければと思います。</p> <p>よろしいでしょうか。それでは、最後にその他でございますが、議事に関して皆様からなにかございますでしょうか。</p> <p>なければ、これですべての議事を終了いたしました。議長の職を解かせていただきます。皆様、ご協力ありがとうございました。</p> <p>葉石委員長、ありがとうございました。</p> <p>続いて次第の4、その他でございますが、委員の皆様から何かございますか。</p> <p>— 特別支援学校に関する情報提供 —</p> <p>ほかに、委員の皆様からございますでしょうか。</p> <p>ないようですので、事務局から連絡事項を申し上げます。</p> <p>次回の会議について連絡させていただきます。次回の策定委員会につきましては、7月頃に部会を開催させていただいた後、8月頃に開催させていただく予定でございます。詳細は改めて連絡させていただきます。連絡事項は以上でございます。</p> <p>最後に、健康福祉部長の柳沢より、閉会にあたりましてご挨拶申し上げます。</p> <p>— 挨拶 —</p> <p>以上をもちまして、令和7年度第1回東松山市障害者計画等策定委員会を閉会させていただきます。長時間にわたりましてご審議を賜りありがとうございました。</p>
<p>上記会議の顛末を記載した内容について、相違ないことを証します。</p>	
<p>令和7年6月4日</p>	<p>署名委員 <u>宮腰 智裕</u></p> <p>署名委員 <u>篠田 真一</u></p>